

## 「科学技術を支える人材の育成・養成」に係る 平成24年度の主な事業実績について

科学技術の振興を通して、地域で新しい価値を生み出し、産業を興し続けるには、将来の研究開発や産業を支える人材の裾野を広げていく必要がある。

これに対し、県では、科学教育に関係する様々な機関等と連携しながら、子どもから若者まで、切れ目なく、その発達段階に応じた科学技術に関する理解と関心を高めていく機会の充実を図る取組みを実施している。

また、実際の研究開発を担う優秀な研究者・技術者の人材育成や研究意欲の維持・向上を促進する取組みを展開している。

平成24年度の主な事業実績は、下記のとおりである。

### (1) 地域の産業や自然を活かした多彩な科学教育の推進

#### ○ 科学教育関係機関の連携会議の開催

県内における体系的・継続的な子どもたちの科学体験学習機会の提供、科学体験学習環境の向上・充実を図るため、県内の科学教育に関係する機関・団体等による会議を開催する。

- ・日 時：平成24年8月24日（金）
- ・場 所：山形県総合研修センター
- ・参集機関：下表のとおり

山形大学	山形県サイエンス・ナビゲーター(個人)
鶴岡工業高等専門学校	やまがた「科学の花咲く」プロジェクトスライムマイスター(個人)
県産業科学館	県義務教育課
県立博物館	県高校教育課
一般社団法人山形県発明協会	県環境科学研究センター
NPO 法人小さな天文学者の会	県工業技術センター
山形市理科教育センター	県農業総合研究センター
最上広域市町村圏事務組合教育研究センター	県工業振興課(事務局)
米沢市教育委員会学校教育課	以上、17機関・団体・個人

- ・協議議題：① 各機関・団体が取り組む科学教育関係事業の計画・実施状況について
- ② 科学教育に関する情報の広報手法について
- ③ 各機関・団体が連携して取り組める事業・企画について
- ④ 新たな科学コミュニケーターの養成と養成した人材の活動機会について

#### ○ サイエンス・ナビゲーターの派遣

子どもたちやその保護者等に科学技術に触れる機会を提供し、科学に対する関心を深めてもらうことを目的として、科学に関する知識や技能を有する人材を、地域で開催される科学教室の講師として派遣する。

#### サイエンス・ナビゲーターの派遣による教室開催実績の年次推移

※平成25年1月末日現在

項 目	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
派遣件数	10	20	21	28	25	22	27	29	48
派遣者数	19	26	30	41	35	26	29	33	65
参加者数	1,217	1,392	2,397	2,834	2,594	1,532	1,892	2,495	3,664
うち子供数	859	1,000	1,389	1,807	1,678	915	1,169	1,438	2,172
うち保護者等数	358	392	1,008	1,027	916	617	723	1,057	1,492

- ・サイエンス・ナビゲーター登録者数は84名（平成25年1月末日現在）

【参考】H23年度末のサイエンス・ナビゲーター登録数：49名

## ○ サイエンス・ナビゲーターの活動を普及する場の提供

新たなサイエンス・ナビゲーター人材の登録促進とサイエンス・ナビゲーター派遣事業の紹介を目的として、公開型の科学実験教室を開催する。

- ・日 時：平成25年3月20(水・祝) 午前10時30分～午後2時30分(予定)
- ・場 所：イオンモール山形南1階センターコート(イベントスペース)
- ・参加対象：一般県民(主に小学生とその保護者等)
- ・内 容：①サイエンス・ナビゲーターによる演示実験  
②サイエンス・ナビゲーター及び科学教室サポーターによる科学実験指導  
③参加者に対する事業資料(チラシ)の配布及び説明

## ○ 夏休み親子科学教室の開催

将来の科学技術を担う青少年の創造性を育むとともに、県民に対する県試験研究機関への理解を深めることを目的として、県試験研究機関等において夏休み期間を利用し、小中学生とその保護者を対象とした科学教室を開催する。

### 夏休み親子科学教室の開催実績の年次推移

項 目	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
開催機関数	17	17	17	16	16	16	14*	16	16
開催教室数	17	19	20	21	18	17	15*	17	17
参加者数	405	837	546	552	493	412	360	421	392
うち子供数	223	469	305	315	279	228	204	231	212
うち保護者等数	182	368	241	237	214	184	156	190	180

\*H22年度は、宮崎県で発生した口蹄疫の影響で、畜産関係試験研究機関(畜産試験場・養豚試験場)及び養豚試験場と敷地を同じくする庄内産地研究室主催の教室が開催を辞退した

## ○ 科学教室サポーター養成講座の開催

高校生を対象として科学の知識や技能を習得し、それを科学教室のサポーターとして活かしてもらうための講座を開催する。

### 平成24年度 科学教室サポーター養成講座開催状況

	開催会場	開催期間	参加生徒数	実験指導の支援を行った科学教室
1	鶴岡南高校	平成24年6月21日 ～12月2日(計11回)	15名	8/5 親子で楽しむ科学の祭典 (鶴岡工業高等専門学校) 8/18 街角科学体験コーナー (イオンモール三川) 12/2 櫛引地域子ども会育成会連合会 実技研修会(櫛引公民館)
2	羽黒高校	平成24年7月31日 ～11月11日(計3回)	4名	11/11 神室フェスティバル (神室少年自然の家)
3	最上広域市町村 圏事務組合教育 研究センター	平成24年10月27日 ～11月10日(計3回)	4名	11/10 おもしろ科学体験 (最上広域市町村圏事務組合 教育研究センター)
4	山形大学 SCITAセンター	平成25年2月20日 ～3月20日(計2回) (予定)	28名	3/20 ワクワク実験倶楽部 (イオンモール山形南)(予定)

## ○ SSH（スーパーサイエンスハイスクール）

将来の国際的な科学技術系人材の育成を図るため、理数系教育に関する研究開発を行う高等学校等をSSHに指定し、理科・数学に重点を置いたカリキュラムの開発や大学等との連携による先進的な理数系教育を実施する。

- ・平成24年度は、米沢興譲館高等学校、鶴岡南高等学校の2校において実施

## （2）若手研究者等の育成、研究リーダーの発掘

### ○ 先端的研究機関への県試験研究機関の研究者の派遣

県試験研究機関の研究者を先端的な研究等を進めている機関に派遣し、研究機関機能強化の戦力となる人材を育成する。

- ・慶應義塾大学先端生命科学研究所への研究者派遣（1名）
- ・国立保健医療科学院主催の短期研修への研究者派遣（1名）
- ・東京工業大学への研究者派遣（1名）
- ・(独)産業技術総合研究所への研究者派遣（1名）
- ・(独)農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所への研究者派遣（1名）
- ・(独)農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所への研究者派遣（1名）